

グリーン栽培協議会（愛知県愛知郡東郷町）

構成員：JAあいち尾東、愛知県尾張農林水産事務所農業改良普及課、
愛知県農業総合試験場普及戦略部

背景・課題

本地域は有機農業者が点在し、それぞれの営農方法は多様で個性が強く、有機農業の基準となるモデル的な技術体系がまとまっていないため、有機農業技術の普及に課題がある。さらに、有機農業では除草剤を使用しないことから、特に労働時間の多くを除草作業が占めており、規模拡大や効率的な経営力向上の妨げの一因となっている。



位置図

みどり戦略実現に向けて

いも類や葉菜類等について、開始前後の土壌分析に基づく適正な有機質肥料の施用などにより、生産効率の最適化モデルを検討する。

使用後にすき込めるマルチ資材使用や除草ロボット等を組み合わせることで、省力的かつ効率的な除草体系を検討する。

東郷町では、本事業と併行して、有機農業者の確保や消費拡大を図るため、「有機農業産地づくり推進」メニューを活用した取組も実施している。



【除草ロボットの活用イメージ】

環境負荷軽減の取組

○有機農業の推進（土壌分析に基づく適正な施肥管理）

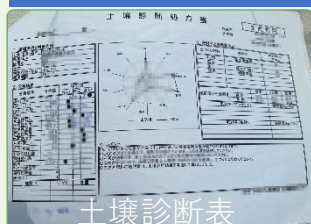
○温室効果ガスの削減（プラスチックマルチに代替するマルチ資材の使用）

検討するグリーンな栽培体系

- ①環境負荷軽減：土壌分析に基づく適正な施肥管理などによる有機農業の推進
- ②環境負荷軽減、省力化：プラスチックマルチに代替するマルチ資材の使用（石油由来資材の使用量削減及び剥ぎ取り・回収作業時間の削減）
- ③省力化：除草ロボット（除草に係る作業時間の削減）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
取組時期				準備	定植	本ほ管理			収穫・片付け			
				①		②				①		
					④			③				

①土壌分析に基づく適正な施肥管理



②代替マルチ資材の使用



③マルチ資材収去時の省力化検討



④除草ロボット使用による省力化検討



問い合わせ先

あいち尾東農業協同組合営農企画課

電話0561-75-0721

メールアドレス einoukikaku@jaab.or.jp